

岡山県立倉敷まきび支援学校 第2回 学校運営協議会 議事録

開催日：令和5年10月24日(火)
会場：大会議室

開会あいさつ（梶谷校長）

今年度は開校10周年。記念キャラクターが決まったり、ビオトープが完成したりしている。12月には一連の記念行事が行われる。

コロナが落ち着き、行事も数多く戻ってきている。子どもたちにとって学びあるものということを第一に考えながら、ウィズコロナ、アフターコロナの面、教員の働き方改革の面からも、今後の行事の在り方を探っていききたい。

学校評価について（主幹教諭）

学校評価の目的、実施時期、実施対象、アンケート項目（学校経営目標を元に設定）、報告方法を提案し、了承された。

学校の取り組みについて（小野副校長）

「地域との取り組み」を主題に、学校全体での取り組み、各学部での取り組みを紹介した。

授業参観（各班で）

グループ協議

就労班

地域型実習、事業所参観日などを通して、学校を知ってもらえるよう努めている。生徒の強みを生かすことが就労や社会参加には欠かせない要素である。企業と学校との橋渡しとして、学校運営協議会がその役割を担っているのではないかと。

環境・安全班

第1回で確認したことの大多数は、継続してできている。公民館分館の清掃活動が未実施であるため、実施時期、内容等を相談して、今年度中に実施したい。マレットゴルフについては、来年度の実施に向けて時期などを調整していく予定である。あいさつ運動で本校の生徒が取り組んでいることが地域の方にも分かるように、たすきをかけてはどうかという意見も出た。今後の検討事項としたい。

福祉班

まきびカフェは昨年度より1.5倍の参加があった。12月に3回目を予定している。出張相談会も多くの参加があった。今年度は個人懇談の話の流れで相談につながるケースが多くあった。そのため、待ち時間も発生したが、待ち合いの時間も有効活用できるような方法を今後探っていききたい。（保護者同士のコミュニケーションの場、事業所を広く知ってもらう場など）

教育班

授業見学をしながら、協議した。児童生徒がとてもいい表情で活動している。作業製品も工夫が凝らされている。価格が安すぎるため、見直してもよいのではないかと意見もあった。

まとめ（着席順）

瀬戸山さん（くらしき作陽大学講師）

介護等体験や教育実習では、学生と児童生徒との交流があるが、他の関わりも考えたい。今回の授業見学を通して、製品の発注もできるのではないかと思った。

藤本さん（ハローワーク総社所長）

製品やビオトープのレンガ敷きを見たが、生徒の強みが生かされていると思った。強みが出せたら就労につながるチャンスにもなる。

唐川さん（ももぞの学園施設長）

ももぞの学園では、地域から依頼された田んぼから収穫した米を1等米として出荷することができた。授業見学では園生が非常にいい表情をしていた。体験、経験が子ども達を後押しすると実感した。学園でも夏休みに、宿泊体験、ブドウの収穫など普段できないような体験をした。

永田さん（倉敷地域基幹相談支援センター所長）

本センターは障害者の虐待の通報先になっている。コロナ禍ではピークに達していたが、徐々に件数は減ってきている。しかし、コロナ前よりは高い水準である。ケースとして多いのは、高等部から特別支援学校に進学、普通校に進学といったケースである。障害者を埋もれさせないように、地域の方からの声かけの重要性を感じている。

川崎さん（真備地域生活支援センター所長）

本センターの新規の利用者は減っているが、困っている方、支援につながっていない方が減っているとは考えていない。本センターの存在を知ってもらって、相談してもらえよう働きかけていきたい。まきびカフェや出張相談会は支援につながっていると思うので、ぜひ継続してほしい。

山下さん（真備船穂商工会青年部長）

今回初めて参加し、知らない部分がたくさんあることが分かった。パンフレットをいただいたので、早速青年部で広めたい。地域型実習でも貢献できるのではと思った。

上田さん（箭田地区まちづくり推進協議会）

登校時の見守り、あいさつをしている。「あいさつが一番大事。」ということを生徒に繰り返し伝えている。

小山校長（真備中学校）

プランターをもらってお礼状を渡すという交流を現在している。支援学級では、学校見学と相談を受けてもらっている。コロナの状況が一段落したので、新たに交流の在り方について探していきたい。

百本さん（地域コーディネーター）

真備船穂総踊りでは、児童生徒が参加してくれたことで、町が活気付いた。文化祭やカフェなど、来校の機会の再開を待ち望んでいる。

閉会あいさつ（中山さん）

見学するたびに、レベルアップしていることをうれしく思っている。倉敷まきび支援学校を各班の良さを生かして盛り上げてほしい。